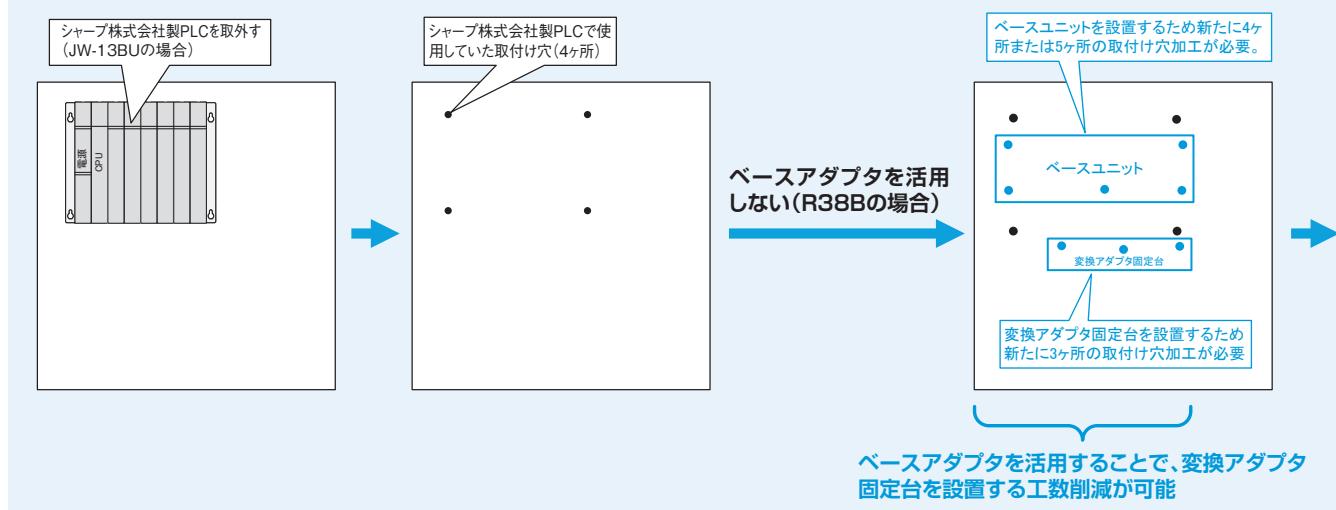


ベースアダプタを活用したリニューアル

ベースアダプタを活用することで、「取付け穴加工工数の削減」および「固定台の取付け寸法位置出しが不要」となります。

ベースアダプタを活用しない場合

新たな7ヶ所または8ヶ所の穴加工だけでなく、MELSEC iQ-Rシリーズベースユニットと固定台間の寸法出しが必要となります。

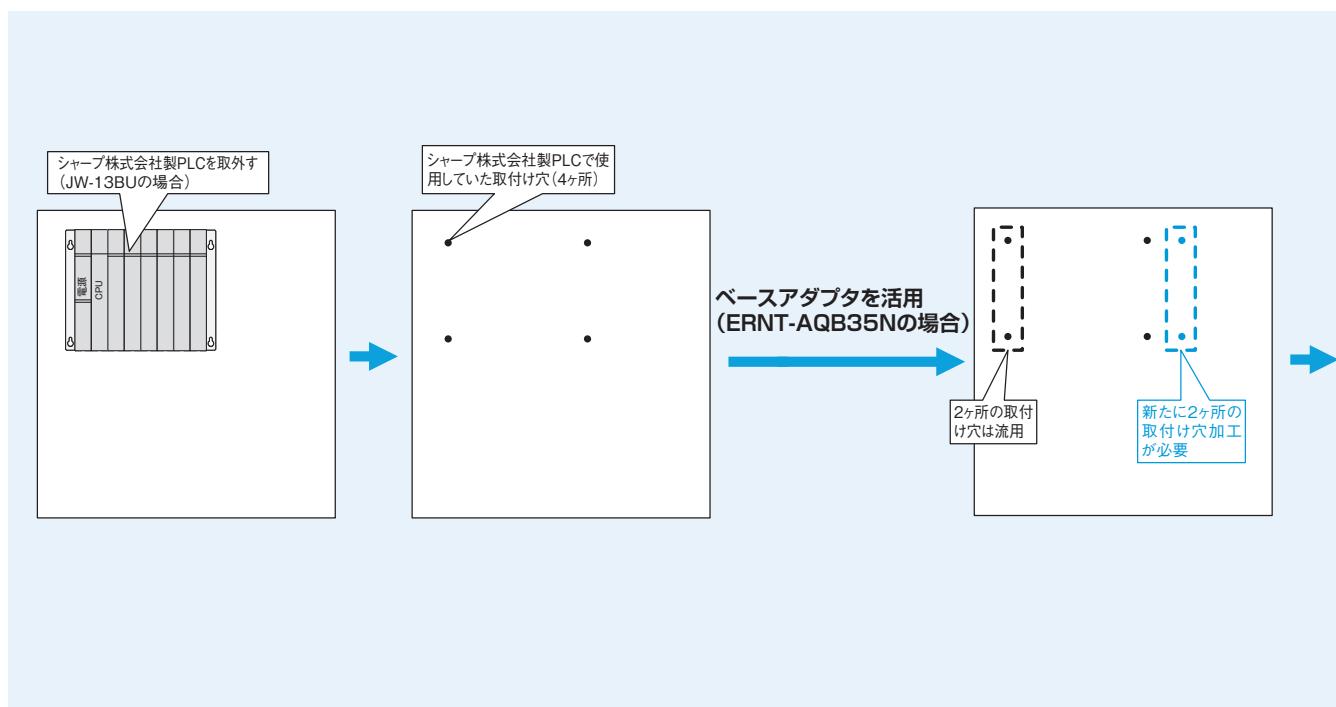


ベースアダプタを活用する場合

ベースアダプタは、取付け穴の縦寸法がJWシリーズベースユニットと同一のため、穴加工は2ヶ所以下となります。

(なお、置換え前後で取付け寸法が4ヶ所とも一致し、追加ネジ穴加工が不要の場合もあります。)

左側の取付け穴2ヶ所を流用すると、下図のようになります。



詳細は、「取付け寸法」(P.149)、「置換え時の外形寸法および取付け穴ピッチ寸法比較」(P.150) および「スロット位置」(P.152)を参照ください。

